

兵庫県のカレハガ上科とカイコガ上科

兵庫県産蛾類分布資料・12

高島 昭

兵庫県の蛾のうち、比較的データがよく集積され、同定もしっかりしていると思われるカレハガ上科、カイコガ上科の各種について、分布状況をまとめてみる。掲載した記録は1998年12月31日現在で入手できた資料に基づいた。

記載要領等は前報「兵庫県のウスベリケンモン亜科とケンモン亜科」(高島,1998,きべりはむし(26)2,p.44-58.)に準じるが、学名の後にカタログ番号を付した。また、参考・引用文献は著者のアルファベット順とした。

なお、次の方々には様々な御助言をはじめ、文献の御紹介、御恵与、採集記録の提供等を賜った。御芳名を記して御礼申し上げる(五十音順、敬称略)。

相坂耕作 近藤伸一 柴田 剛 山本義丸

カレハガ科 <Lasioleptidae>

カレハガ科の蛾は、枯葉に似た色彩の種が多くこの名がある。大型から中型種が多く、すべて夜行性である。日本では20種が記録されているが、その大部分は冷温帯に分布の中心を持ち、旧北区に広く分布する広域分布種も多い。兵庫県下では14種がこれまでに記録されており、マツカレハ、リングカレハ、タケカレハ、オビカレハなど、果樹や庭園樹、街路樹の害虫として著名なものもいるが、一般にあまり目立たず話題にのぼることは少ない。採集例が少ない種も多いが、春や晩秋に1回だけ発生という種が多いこともその一因であろう。分布上注目すべき種もいくつかあり、とくにウスマダラカレハは国内でも数例の採集例しかなく、幻の蛾である。また、冷温帯性のヒメカレハ、ウスズミカレハ、ヤマダカレハは採集例が少なく、局地的な分布となっており注目種である(第1表)。ヨシカレハ、ギンモンカレハも採集例は少ない。また、スカシカレハ、ミヤケカレハなどは発見が期待される。

1. *Gastropacha populifolia* (Esper) (2962)

ホシカレハ

北海道から九州にかけて分布し、ハコヤナギ属を

食樹とするユーラシア種。県下での記録は案外少なく、尼崎市、宝塚市、姫路市、波賀町、南淡町の5市町で記録されているだけである。初夏と秋に採集されており、年2回発生しているものと思われる。

[採集記録]

尼崎市(-,5.VI.1945,-;25.VII.1949,-,新家勝¹⁹⁾)

宝塚市(南口2丁目,20.IX.1979,-,新家勝¹⁶⁾;武庫川町,24.IX.1989,-,新家勝²⁰⁾;武田尾,23.VI.1990,1♀,東正雄³⁰⁾)

姫路市(飾磨区入船町,12.IX.1969,1♀,相坂耕作)

波賀町(引原,1.X.1988,1♀,高島昭³²⁾)

南淡町(阿万上町,26.V.1987,-,藤平明⁹⁾)

2. *Gastropacha orientalis* Sheljuzhko (2964)

カレハガ

本種から九州、対馬、屋久島に分布する。幼虫はウメ、モモ、サクラ、アンズ、リンゴ、ナシ、スモモ、ヤナギなど多くの植物につくことが確認されている。年2回の発生で夏の個体は比較的小型。全国的に普通種で県下でも南部を中心に普通に見られるが、中東播南部及び但馬地域からは報告がない。おそらく広く分布するものと思われる。

[採集記録]

神戸市(有馬,13.IX.1947,1♂,東正雄³⁰⁾)

宝塚市(南口2丁目,30.IX.1978,-,新家勝¹⁶⁾)

黒田庄町(喜多,1.VII.1960,1ex.,岡本清)

三室山(-,-,-,-,遠山ほか²⁵⁾)

三日月町(下本郷,-,IX,-,-,川副昭人⁹⁾)

水上郡(-,-,-,-,山本義丸³³⁾)

北淡町(常隆寺山,7.VII.1972,1♂,登日邦明⁴⁵⁾)

洲本市(中津川,15.VIII.1972,1♂,登日邦明⁴⁵⁾)

南淡町(阿万上町,11.X.1958,-,藤平明⁹⁾)

3. *Phylloidesma japonica* (Leech) (2966)

ヒメカレハ 注目種

北海道と本州に分布する。冷温帯性の種で、北海道など北日本では個体数も多いようであるが、西南暖地では稀な種となる。年1回春の出現で幼虫は発見されていないが、ヨーロッパの近縁種の食性からおそらくカバノキ科、ヤナギ科などを食べているの

ではないかと思われる。

県下の記録は、筆者が県西部の上郡町の山中で発見した1例のみである。岡山県(中・北部)、鳥取県で少ないながら記録されているので、西播から但馬にかけての山地を探せば他に産地がみつかると思う。

【採集記録】

上郡町(行頭,27.IV.1995,1♂,高島昭³⁵)

4. *Bhima idiota* (Leech) (2968)

ウスマダラカレハ 注目種

冷温帯系の種でシベリア南東部、中国東北部、朝鮮に分布する。日本では岡山県苫田郡奥津町、広島県戸河内町滝山峡、鹿児島県霧島山、兵庫県水ノ山の4カ所で♀の記録があるだけで、氷河期の遺存種かと思われる。海外ではスモモ属やハコヤナギ属を食樹としているが、日本では確認されていない。

今後の発見が期待される。

【採集記録】

水ノ山(坂の谷林道,3.VI.1978,1♀,河上友三²⁷)

5. *Euthrix potatoria* (Linnaeus) (2969)

ヨシカレハ

ヨーロッパからシベリア、朝鮮、サハリン、日本にかけて分布する広域分布種で、日本では北海道から九州にかけて分布する。関東以西では山地性となる。年1回の発生で、幼虫はヨシ、ササにつくといい。県下での記録は少なく、段ヶ峰、水ノ山、扇ノ山などの山地で記録されているが、豊岡市内でも見つかっており、丹念に探せば播但山地一帯から但馬地域にかけて他にも見つかるものと思う。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭)

豊岡市(正法寺,30.VIII.1997,1♂,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,2♂,川副昭人⁴¹)

生野町(段ヶ峰,6.VIII.1953,1♂,山本義丸⁵⁰)

水ノ山(29.VII.1973,-,山根政之²⁸)

関宮町(水ノ山,-,1954,-,山本義丸⁵¹)

6. *Euhrix albomaculata* (Bremer) (2970)

タケカレハ

前種と近縁であるが、分布は東アジアからシベリア南東部に限られる。国内では北海道から九州にかけて分布し、年2回の発生で各地に普通に見られる。幼虫はタケ、ササ、ススキ、ヨシなどイネ科につく。

県下でも各地に普通に見られる。未記録の地域に

も広く分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-,1933,-,堀江聡男⁴⁰:摩耶山,-,

-,-,-,田中蕃⁴⁰:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁴)

尼崎市(-,10.VI.1946,-,新家勝¹⁹)

西宮市(船坂,6.VI.1987,1♀,東正雄³⁰)

宝塚市(西谷西部,25.VI.1977,1♂; 19.IX.1987,1♂; 17.VI.1989,1♂,東正雄³⁰: 武田尾,23.VI.1990,2♀,東正雄³⁰)

川西市(黒川,7.IX.1996,1♂,近藤伸一³⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか¹²)

黒田庄町(喜多,4.V.1959,1ex.,岡本清: 同,16.V.1960,1ex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,-,1982,-,木村三郎¹⁰: 太市,-,-,1991,-,丸谷ほか²¹)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)

波賀町(引原,5.IX.1987,1♂; 26.VIII.1988,1♀,高島昭³²)

上郡町(行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭³⁵)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-; -IX.-,-,川副昭人⁹)

豊岡市(正法寺,11.X.1997,1♂,柴田剛: 同,9.VII.1998,1♂,柴田剛)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)

水ノ山(-,-,-,-,遠山ほか²⁵)

水上郡(-,-,-,-,-,山本義丸⁵³)

洲本市(鮎屋,13.VI.1969,-,坂口操²⁶: 先山,17.VI.

1951,1ex.,堀田久³: 三熊山,15.VI.1981,1♀,西岡公明²²)

三原町(八木養宜,13.V.1985,-; 14.V.1993,-,藤富正昭⁷)

南淡町(阿万,7.VI.1959,-,藤平明⁵: 同,14.VI.1969,-,坂口操²⁶: 阿万上町,5.V.1961,-,藤平明⁵: 同,6.V.1972,2♂,登日邦明⁴²: 同,14.VII.1972,1♂,登日邦明⁴³: 灘,5.V.1961,-,藤平明⁵)

7. *Somadasys brevivenis* (Butler) (2972)

ギンモンカレハ

北海道から九州、対馬、屋久島に分布するが分布の中心は冷温帯で、サハリンにも産する。年2回の発生で前翅の銀色の紋が特徴的である。幼虫はカエデ類を食べるといふ。

県下では、中・西播から但馬にかけての山地を中心に散発的に得られており局地的な分布となっている。しかし、竹野町では低山地での発生が確認され

ており但馬地域には広く分布している可能性がある。筆者の経験では発生地での個体数は少ないものではない。

【採集記録】

夢前町(雪彦山,22.IV.1962,1ex.,岡本清)
 波賀町(引原,16.V.1988,1♂; 9.VII.1988,1♂1♀,高島昭³²: 坂の谷,27.V.1998,1♂,高島昭: 同,28.VIII.1998,1♂,高島昭)
 竹野町(森本,30.VIII.1998,1♂,柴田剛)
 大屋町(田湖山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵⁷)
 関宮町(氷ノ山,-.VIII.1955,15♂,山本義丸⁵²)

8. *Odonestis pruni* (Linnaeus) (2974)

リンゴカレハ

ヨーロッパから中国、日本、台湾にまで分布する広域分布種である。国内では北海道から九州、対馬、屋久島で記録され、各地に普通。幼虫はクヌギ、リンゴ、ナシなどにつく。

県下でも各地に普通に見られる。年2回の発生と思われる。中東播南部、北但から記録がないが、広く分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-.1933,-,堀江聡男⁴⁸: 摩耶山,-. -. -,田中蕃⁴⁰: 同,-. -. -. -,岡村八郎²⁴)
 宝塚市(西谷西部,25.VI.1977,1♂; 14.IX.1986,1♂,東正雄; 22.VIII.1987,1♂; 19.IX.1987,1♂,東正雄³⁰)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 20.VIII.1982,1♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか¹²)
 三田市(香下,7.IX.1991,1♀,東正雄³⁰)
 黒田庄町(喜多,12.VI.1961,1ex.,岡本清)
 波賀町(引原,5.IX.1987,1♂1♀,高島昭³²: 坂の谷,3.VII.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂,高島昭³³)
 三日月町(下本郷,-.VI.1984,-; -.IX.-,-,川副昭人⁹)
 大屋町(田湖山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵⁷)
 関宮町(氷ノ山,-.1954,-,山本義丸⁵¹)
 水上郡(-, -. -. -. -,山本義丸⁵³)
 北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♀,登日邦明⁴⁵)
 洲本市(鮎屋,13.VI.1969,-,坂口操²⁶: 中津川,3.VII.1972,2♂,登日邦明⁴⁵: 先山,17.VI.1951,1ex.,堀田久³)
 南淡町(阿万上町,-.IX.1958,-,藤平明⁶: 同,11.VI.1961,-,藤平明⁵)

9. *Dendrolimus superans* (Butler) (2975)

マツカレハ

北海道から沖縄まで分布するが、奄美大島以南のものを別種とする説もある。伊豆御蔵島からも見つかっている。マツ属につき各地に普通。県下でも各地にごく普通に見られる。年1回、夏の発生とされているが、発生時期が長いのか6月から10月まで記録がある。中東播北部は記録漏れと思われる。

【採集記録】

神戸市(大池,22.VIII.1938,1♀,高橋寿郎²⁹: 摩耶山,-. -. -. -,岡村八郎²⁴)
 尼崎市(-, -. -. -. -,新家勝¹⁹)
 宝塚市(南口2丁目,16.VI.1988,-,新家勝²⁰: 武庫川町,20.VII.1979,-,新家勝¹⁶: 同,14.X.1998,1♀,東正雄³⁰: 同,15.IX.1989,-,新家勝²⁰: 宝梅1,30.VI.1991,1♀,東正雄³⁰: 光明町,13.IX.1988,-,新家勝³⁰: 西谷西部,9.VII.1988,1♀; 27.VI.1989,1♂; 29.VI.1991,1♀,東正雄³⁰)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,近藤伸一³⁷: 同,7.IX.1996,1♀; 7.VI.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか¹²)
 高砂市(-,10.VII.1964,1ex.; 6.IX.1970,1ex.,岡本清²³)
 姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭³⁶: 太市,-. -. -. -. -,丸谷ほか²¹)
 波賀町(引原,25.VII.1988,1♂1♀,高島昭³²)
 三室山(-. -. -. -. -,遠山ほか²⁵)
 相生市(瓜生,26.VIII.1997,1♀,高島昭³⁸)
 上郡町(行頭,12.VII.1995,1♂; 7.IX.1995,1♂,高島昭³⁵)
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-; -.VI.1984,-; -.IX.1984,-,川副昭人⁹)
 豊岡市(山本,10.VI.1973,-; 25.VII.1973,-,山根政之²⁸)
 氷ノ山(-. -. -. -. -,山本義丸⁵⁴: 同,-. -. -. -. -,遠山ほか²⁵)
 氷上郡(-, -. -. -. -,山本義丸⁵³)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹: 同,5.VIII.1972,1♂,登日邦明⁴⁶)
 津名町(大町畑,1.VII.1972,1♂; 31.VII.1972,1♀,登日邦明⁴⁵)
 洲本市(鮎屋,29.VII.1969,-,坂口操²⁶: 中津川,2.VII.1972,1♀; 3.VII.1972,2♂,登日邦明⁴⁶)
 三原町(八木養宜,27.V.1985,-; 31.V.1992,-,藤富正昭⁷)

南淡町(阿万上町,7.VI.1961,-,藤平明⁵:同,10.VII.1972,1♂,登日邦明^{4*}:同,5.VI.1973,-,藤平明⁶)

10. *Dendrolimus superans* (Butler) (2976)

ツガカレハ

北海道から九州、対馬に分布する。変異が多く前種とよく似ている個体もあるが、より大型、前翅亜外縁部の暗色斑の位置がCuA₁とCuA₂の間で深く内側に侵入しているため、M₂とCuA₁の間で前種よりも強く突出して見えることで区別できる。年1回が基本であるが第2化が出ることもあるという。マツ類につく。県下の記録は前種に比べるとやや少なく局地的。平地から低山地に生息しているようである。[採集記録]

宝塚市(武庫川町,7.IX.1981,-,新家勝¹⁷:西谷西部,28.VII.1987,1♂;5.IX.1987,1♀;19.IX.1987,2♂;18.VI.1988,1♂,東正雄³⁰)

三日月町(下本郷,-.IX.-,-,川副昭人⁹)

柏原町(柏原,-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)

氷上町(香良,-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)

市島町(妙高山,-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)

洲本市(三熊山,12.VIII.1981,1♂,西岡公明²²)

南淡町(阿万上町,7.VI.1959,-,藤平明:同,3.VII.1984,-,藤平明⁶)

11. *Kunugia undans* (Walker) (2977)

クヌギカレハ

北海道から四国にかけてと対馬、沖縄、石垣島、西表島に分布する。沖縄のものはかつてイワサキカレハと呼ばれていたものである。コナラ属、クリ、南西諸島ではモククダバナ、ホルトノキなどを食べる。年1回、晩秋から初冬にかけて出現する。県下では以下の各地で得られているが、出現時期が遅いため、充分調査が行われていないものと思われる。なお、三田市、黒田庄町の採集例は8月で本種としては早く、確認が必要である。里山から低山地にかけてもっと普遍的に分布していると予想される。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,-,岡村八郎²⁴)

宝塚市(武田尾,25.X.1989,1♂,東正雄³⁰)

三田市(香下,22.VIII.1986,1♀,東正雄³⁰)

黒田庄町(喜多,7.VII.1960,1ex.,岡本清:同,8.VII.1960,1ex.,岡本清)

龍野市(北龍野町,4.XI.1967,1♂,相坂耕作)

波賀町(引原,21.X.1997,1♀,高島昭)

上郡町(船坂,23.X.1997,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人⁹)

和田山町(久世田,17.X.1988,1♂,近藤伸一)

氷上郡(-.-.-.-,-,山本義丸⁵³)

洲本市(厚浜,1.XI.1976,-,藤富正昭⁷)

三原町(八木養宜,29.X.1991;23.X.1992,-,藤富正昭⁷)

南淡町(阿万上町,9.XI.1958,-,藤平明⁵:同,6.X.1986,-,藤平明⁶)

12. *Kunugia yamadai* Nagano (2978)

ヤマダカレハ 注目種

関東以西の本州と四国、九州に分布し、国外では朝鮮半島で記録されている。クヌギ、コナラ、アベマキ、アラカシなどのブナ科を食樹としており、平地の雑木林を主たる生息地としている。年1回、秋遅く出現する。前種と同様幼虫の刺毛には毒性がある。県下では、三日月町と氷上郡で古い記録があるだけであったが、筆者は最近川西市で採集することができた。発生時期が遅いため、調査が不十分であると思われる。

国内の分布からみて生息環境への適応性が狭いと思われる上、平地の雑木林が開発によって姿を消しつつある現在、急速に産地や個体数が減少していると思われる。

[採集記録]

川西市(黒川,1.XI.1997,1♂1♀,高島昭³⁷)

三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人⁹)

氷上郡(-.-.-.-,-,山本義丸⁵³)

13. *Poecilocampa tamanukii* Matsumura (2980)

ウスズミカレハ 注目種

いわゆるユーラシア種で、ヨーロッパから日本にかけて旧北区北部に広く分布する種で、日本では北海道から九州にかけて分布する。年1回晩秋から初冬に発生する。日本ではヤマナラシでの飼育が成功した例が知られているが、ヨーロッパではカシワ、カンバ、ハコヤナギなど多くの樹木につくといい。

県下では神戸市と豊岡市で得られているだけで記録は少ない。発生時期が遅いためと思われ、調査をすれば各地で見つかると思われる。

[採集記録]

神戸市(名谷,15.XII.1963,6♂,松本健嗣¹²:藍那,14.XII.1974,2♂1♀,松本健嗣¹¹)

豊岡市(山本,29.IX.1972,-,山根政之²⁸)

14. *Malacosoma neustria* (Linnaeus) (2981)

オビカレハ

北海道から九州、対馬、屋久島に生息し、全国的に普通。年1回の発生で、幼虫はウメ、サクラ、ヤナギ、バラ、モモ、リンゴなど多くの樹木につく。枝上に糸を張って集団で棲み、テンマクケムシと呼ばれる。幼虫は終齢になると分散する。このため、街路樹などが丸坊主にされることもあり、害虫として著名である。県下でも平地から低山地にかけて各地に普通である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃⁴⁰:有馬,29.V.1990,1♀,東正雄³⁰)
 宝塚市(南口2丁目,6.VI.1979,-,新家勝¹⁶)
 川西市(満願寺,10.VI.1939,2♂,東正雄³⁰)
 姫路市(太市,-,-.1991,-,丸谷ほか²¹)
 上郡町(行頭,23.VI.1995,1♂1♀,高島昭³⁵)
 佐用町(佐用坂,28.VI.1965,1ex.,岡本清)
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-;-.VI.1984,-,川副昭人⁹)
 氷ノ山(-,-,-,-,遠山ほか²⁵)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁵³)
 北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♀,登日邦明⁴⁶)
 洲本市(三熊山,10.VI.1981,2♂;6.VI.1981,1♀;19.VIII.1981,1♀;20.VIII.1981,1♀,西岡公明²²)
 三原町(八木菱宜,29.V.1992,-;14.VI.1992,-,藤富正昭⁷)
 南淡町(阿万上町,7.VI.1959,-,藤平明⁵:灘,25.VI.1971,-,藤平明⁵)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Gastropacha clathrata* Bryk (2963)

ワタナベカレハ

屋久島のほか秋田、高知、和歌山、熊本などで記録されている。最近では北海道、岩手、山形、山口などでの記録もある。偶産蛾とされているが土着している可能性も捨てきれない。いずれにせよ今後兵庫県でも記録される可能性がある。

2. *Amurilla subpurpurea* (Butler) (2973)

スカシカレハ

北海道から九州、サハリン、シベリア南東部に分布するで冷温帯性の種である。現在のところ県下からの記録はないが、分布域に入っており見つかる可

能性がある。

3. *Takanea miyakei* (Wileman) (2979)

ミヤケカレハ

北海道から九州にかけて分布し、関東から中部にかけての山地では個体数も多い。西南暖地では高地に限られ、局地的となるようで、紀伊半島、四国山地、九州山地での分布が知られている。県下からはこれまで記録がないが、氷ノ山を中心とする地域での発見が期待される。

オビガ科 <EUPTEROTIDAE>

オビガ科は小さな科で主に東洋区に分布し、一部はアフリカに産する。日本産は1属1種のみ産する。

1. *Apha aequalis* (Felder) (2982)

オビガ

北海道から九州にかけてと屋久島に分布し全国的に普通種である。春と夏の2回出現し、スイカズラ科のハコネウツギ、ニシキウツギ、スイカズラなどにつく。県下でも各地に普通である。

[採集記録]

神戸市(六甲山,-,-.1933,-,堀江聡男⁴⁸:摩耶山,-,-,-,田中蕃⁴⁰:同,-,-,-,岡村八郎²⁴:大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²⁹:谷上,12.VIII.1931,1♀,東正雄³⁰:岩岡町,1.X.1989,1♀,近藤伸一)
 宝塚市(西谷西部,22.VIII.1987,1♂;17.IX.1988,1♂,東正雄³⁰:武田尾,6.VII.1991,1♂,東正雄³⁰)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭³⁷:同,8.IX.1996,1♂,近藤伸一³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;21.VII.1982,2♂,夏秋ほか¹²)
 黒田庄町(喜多,7.VII.1961,1ex.,岡本清:同,13.IX.1962,1ex.,岡本清)
 姫路市(広嶺山,-,-.1982,-,木村三郎¹⁰)
 夢前町(-,-.IX.1971,1♀,坂坂耕作)
 波賀町(引原,25.VIII.1987,2exs.;10.IX.1987,1ex.,高島昭²²:坂の谷,19.VIII.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,7.VII.1989,1♂,高島昭³³:同,22.VIII.1997,1♂,高島昭:同,25.IX.1997,1♂,高島昭)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭:行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭³⁵)
 三日月町(下本郷,-.IX.-,-,川副昭人⁹)
 豊岡市(三坂,9.VII.1998,1♂,柴田剛)

村岡町(澁川平,12.VIII.1989,1♂,近藤伸一)
 温泉町(扇ノ山,-.-.-,遠山ほか^{2,5})
 和田山町(久世田,23.IX.1989,1♂,近藤伸一)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸^{5,1})
 水上郡(-.-.-.-,山本義丸^{5,3})
 北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♂1♀,登日邦明^{4,5})
 津名町(大町畑,11.VII.1972,1♂,登日邦明^{4,5})
 南淡町(阿万上町,21.VI.1959,-,藤平明⁵:同,10.VII.
 1972,2♂,登日邦明^{4,5}:同,21.X.1985,-,藤平明⁶)

カイコガ科 <BOMBYCIDAE>

アジアに分布する小さな科で、ごく一部は東アジアの温帯から寒帯域にまで分布を広げる。中型から小型種が多い。触角は♂、♀とも櫛歯状。口吻はごく短いか退化している。日本産は飼育種であるカイコを含めて4属5種が分布する。

1. *Bombyx mori* (Linnaeus) (2983)

カイコ

形態的にはクワコとほとんど変わらない。おそらく、クワコが原種と思われる。

絹糸を取るため古来中国でクワによって飼育され、世界に広められた。累代飼育により飛翔力を失い、人の管理下でないと生命を維持することができない。したがって野外での採集記録はなく、文献上の記録は飼育個体である。

【採集記録】

水上郡(-.-.-.-,山本義丸^{4,9})

【飼育状況】

かつては、県内各地で養蚕が行われていたが、現在は廃れてしまいほとんど残っていない。平成10年2月現在、県内での養蚕農家はわずか7戸を数えるに過ぎない。

2. *Bombyx mandarina* (Moore) (2984)

クワコ

カイコの野生型とされ、容易に雑種をつくることができる。北海道から九州、屋久島、トカラ列島に分布し、クワやヤマグワを食べる。県下では低山地から山地にかけて広く分布しているが、中東播地域や北但、淡路からは記録されていない。

【採集記録】

神戸市(山田,6.VIII.1929,1♀,東正雄^{3,0})

宝塚市(西谷西部,18.VII.1976,1♂,東正雄^{3,0})

妙見山(5.VIII.1984,2♂,夏秋ほか^{1,4})

波賀町(引原,25.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,lex.;19.

X.1988,1♂,高島昭^{3,2}:同,21.X.1997,1♂,高島昭:

坂の谷,10.VII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.1983,-,川副昭人⁹)

和田山町(久世田,17.VII.1989,1♂,近藤伸一)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀^{5,7})

氷ノ山(-.-.-.-,遠山ほか^{2,5})

関宮町(氷ノ山,-.VIII.1955,-,山本義丸^{5,3})

柏原町(柏原,-.-.-.-,山本義丸^{4,9})

青垣町(神楽,-.-.-.-,山本義丸^{4,9})

3. *Oberthueria falcigera* (Butler) (2985)

オオクワゴモドキ 注目種

北海道から九州にかけて分布し、西南日本では山地性となる。各種のカエデ類を食し、年2回出現する。県下では西播北部から但馬、丹波にかけて局地的に記録されているだけで山地性の少ない種である。

【採集記録】

波賀町(引原,7.VI.1988,1♂;15.VI.1988,1♀,高島昭

^{3,2}:坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭)

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♂,谷田昌也^{4,1})

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀^{5,7})

市島町(妙高山,8.VIII.1960,1♂,山本義丸^{4,9})

4. *Prismosticta hyalinata* Butler (2987)

スカシサン 注目種

関東以西から四国、九州にかけての山地に生息するが少ない種である。もとはオビガ科に含まれ、スカシオビガと呼ばれていたが、幼虫が発見されてカイコガ科に編入された。♂は前翅第6室に大きな透明紋があり、これが和名の由来になっているものと思われる。サワフタギ、タンナサワフタギにつき、年1回の発生である。

県下ではわずかに六甲山東部と加美町、氷ノ山、青垣町の山地で散発的に記録があるだけで、局地的である。

【採集記録】

神戸市(東六甲,11.VI.1933,1♂;23.VI.1968,1♂,東正雄^{3,0})

加美町(千ヶ峰,19.VII.1961,lex.,岡本清)

関宮町(氷ノ山,-.VIII.1955,1♂,山本義丸^{5,3})

青垣町(粟鹿峯,25.VIII.1956,-,山本義丸^{5,3})

<今後記録される可能性のある種>

- ,藤平明⁴⁾

1. *Pseudandraea gracilis* (Butler) (2986)

カギバモドキ

関東以西から九州の山地に分布し、年2回の発生である。ツバキ科のヒメシャラが食樹として知られている。分布は局地的と思われる、現在のところ県下からは記録がない。

イボタガ科 <BRAHMAEIDAE>

旧熱帯地方を分布の中心とする小さな科で、大型で翅の幅が広い種が多い。日本には1属1種、イボタガのみが分布する。

1. *Brahmophthalma japonica* Butler (2988)

イボタガ

年1回春の発生で、北海道から屋久島にかけて分布する。イボタノキ、モクセイ、トネリコ、ネズミモチ、ヒイラギなどモクセイ科を食樹としている。県下では、阪神間と西播、丹波、淡路の各地で記録されており、典型的な里山の蛾である。中東播北部及び西播北部、但馬地域からは記録がない。

[採集記録]

神戸市(新神戸,24.IV.1976,-,-²⁾:有馬温泉,5.V.1949,1♂,東正雄²⁾

宝塚市(宝梅1,6.IV.1981,1♀,東正雄³⁾:西谷西部,11.III.1977,1♂;14.IV.1990,1♂,東正雄:同,6.IV.1992,1♂,福中孝治³⁾

姫路市(広嶺山,-,-.1982,-,木村三郎¹⁾:同,31.III.1982,1♂,相坂耕作:同,5.IV.1982,1♂,相坂耕作:同,8.IV.1982,2♂,相坂耕作:太市,-,-.1991,-,丸谷ほか²⁾

相生市(瓜生,18.IV.1995,1♀,高島昭³⁾:中野,4.IV.1997,-,目,高島昭)

三日月町(下本郷,-.IV.-,-,川副昭人⁹⁾)

柏原町(柏原,-,-.-,-,山本義丸⁴⁾)

市島町(-,-.-.-,-,山本義丸⁴⁾)

津名町(大町畑,5.IV.1972,1♂,登日邦明⁴⁾)

洲本市(鮎屋,8.IV.1969,-;9.IV.1969,-;2.IV.1970,-;3.IV.1970,-,坂口操²⁾:中津川,7.IV.1972,1♂,登日邦明⁴⁾:厚浜,3.IV.1974,-,藤富正昭⁷⁾)

三原町(八木養宜,2.IV.1983,-;16.IV.1984,-,藤富正昭⁷⁾)

南淡町(北阿万,19.III.1966,-,藤平明⁴⁾:灘,8.IV.1971,

ヤマユガ科 <SATURNIIDAE>

大型種が多く、ヨナグニサンは翅の面積では世界最大の蛾である。ほとんど世界中に分布するが、熱帯地方に多い。樹木や果樹の重要害虫とされる種がある。繭は堅固で大きなものが多い。日本には12種生息し、そのうち、兵庫県には9種が記録されている(第1表)。普通種が多いが、クロウスタビガは産地が局限され、個体数も少なく注目種である。

1. *Samia cynthia* (Drury) (2990)

シンジュサン

インド、マレーから中国、シベリア南東部、日本にかけて広く分布し、北アメリカやヨーロッパでは糸をとる目的で飼育されている。また、インドの飼育種エリサン、ヒマサンは本種の一品種で、絹糸虫として移入されたこともある。

日本では各地に分布し、西南暖地では年2回の発生である。和名はシンジュを食べるヤマユゴという意味であるが、実際は多食性である。

県内では平地から低山地にかけて分布しているが、中東播北部、西播北部、但馬地域からは報告されていない。各地に広く分布していると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-.-,-,田中蕃⁴⁾:同,-,-.-,-,岡村八郎²⁾:大池,22.VIII.1938,1ex.,高橋寿郎²⁾)

宝塚市(武庫川町,12.V.1982,-,新家勝¹⁾:西谷西部,21.VI.1981,1♀,東正雄³⁾:大原野,15.V.1988,1♂,東正雄³⁾:武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄³⁾)

猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか¹⁾)

姫路市(広嶺山,-,-.1982,-,木村三郎¹⁾:宇佐崎,1.VIII.1985,1♂,沢田:太市,-,-.1991,-,丸谷ほか²⁾)

上郡町(尾長谷,30.VI.1995,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.1985,-,川副昭人⁹⁾)

柏原町(柏原,-,-.-,-,山本義丸⁴⁾)

市島町(妙高山,-,-.-,-,山本義丸⁴⁾)

津名町(志筑,30.VIII.1973,-,藤富正昭⁷⁾)

洲本市(鮎屋,8.VI.1969,-;10.VI.1970,-,坂口操²⁾:中津川,15.VIII.1972,1♂,登日邦明⁴⁾)

三原町(八木養宜,21.VI.1992,-,藤富正昭⁷⁾)

南淡町(阿万上町,26.VIII.1960,-;12.VI.1970,-;19.V.1972,-,藤平明⁴⁾)

2. *Antheraea yamamai* (Guérin-Méneville)

(2991) ヤマモコ

繭からテグスがとれるので長野県では放飼されている。飼蚕(カイコ)に対して山蚕(ヤマコ)とも呼ばれる。ヨーロッパでも日本から移入されたものが飼育され、ユーゴスラビアではこれが野生化して森林害虫になったという。

本州から九州、対馬、屋久島にかけて分布する。コナラ属を食し、里山から低山地にかけてが主な生息域である。翅色には変異がある。県内でも広く分布している。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃⁴⁰:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁴:大池,22.VIII.1938,lex.,高橋寿郎²⁹)
 尼崎市(-,9.X.1949,-,新家勝¹⁹)
 宝塚市(南口2丁目,28.IX.1978,-,新家勝¹⁵:中山寺,23.IX.1989,-,新家勝³⁰:碎石場,14.IX.1978,1♂
 1♀,東正雄³⁰:西谷西部,13.IX.1976,1♀;24.IX.1977,1♀;18.IX.1982,1♂;22.VIII.1987,1♂;19.IX.1987,1♂;6.VIII.1988,1♀1♀;22.IX.1990,6♂;21.IX.1991,6♂,東正雄³⁰:武田尾,12.VIII.1991,2♂;15.VIII.1991,1♂,東正雄³⁰)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂;20.IX.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか¹²)
 三田市(香下,25.VIII.1976,1♂,東正雄³⁰)
 姫路市(広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎¹⁰:本町,-,IX.1964,1♀,相坂耕作:太市,-,-,1991,-,丸谷ほか²¹)
 夢前町(-,21.VIII.1973,1♂1♀,相坂耕作)
 龍野市(西方院,24.IX.1972,1♂,相坂耕作:揖西町,26.IX.1989,1♀,相坂耕作)
 波賀町(引原,25.VIII.1987,1♂,高島昭³²)
 相生市(瓜生,26.VIII.1997,lex.,高島昭³⁸)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,VIII.1983,-;-IX,-,-;-IX.1984,-,川副昭人⁹)
 日高町(-,24.VIII.1973,-,小西与理子²⁸)
 村岡町(澗川平,12.VIII.1989,2♂,近藤伸一)
 和田山町(久世田,31.VIII.1989,lex.,近藤伸一:同,12.IX.1989,1♂,近藤伸一)
 水上郡(-,-,-,-,-,山本義丸⁵³)
 洲本市(鮎屋,10.IX.1969,-,坂口操²⁶:中津川,11.VIII.1972,1♂;15.VIII.1972,2♂,登日邦明⁴⁴:先山,12.VIII.1973,lex.,石原ほか³)

三原町(八木養宜,3.X.1984,-;30.VIII.1992,-,藤富正昭⁷)

南淡町(阿万上町,30.IX.1959,-;19.IX.1973,-,藤平明⁴)

3. *Caligula japonica* (Moore) (2993)

クスサン

北海道から九州、対馬、屋久島、奄美、沖縄にかけて分布し、年1回初秋に発生する。極めて多食性で、他の蛾がほとんど食べないイチョウをも食べるというが、とくにクリを好み、クリの一大害虫として知られる。

幼虫は一般にクリケムシと呼ばれるが、白色長毛に覆われた特徴からシラガタロウと呼ばれることもある。また、繭は内部の蛹が透けて見えるのでスカシダワラと呼ばれる。この繭をほぐしたものは栗綿といい、紡績の原料になる。

県下では里山から低山地にかけて分布する。記録のない地域にも普通に分布すると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃⁴⁰:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁴)
 宝塚市(南口,10.X.1988,1♀,東正雄³⁰:南口2丁目,1.X.1978,-,新家勝¹⁵:西谷西部,22.IX.1991,2♂2♀,東正雄³⁰:武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄³⁰)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか¹²)
 姫路市(広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎¹⁰)
 夢前町(菅生潤,24.IX.1969,1♂,相坂耕作:同,2.XI.1970,1♀,相坂耕作)
 龍野市(北竜野町,7.IX.1996,1♀,相坂耕作)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♀,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,VIII.1983,-;-VIII,-,-;-IX.1984,-;-X.1984,-,川副昭人⁹)
 豊岡市(山本,18.X.1972,-,山根政之²⁸)
 関宮町(鉢高原,26.IX.1982,1♀,近藤伸一)
 水上郡(-,-,-,-,-,山本義丸⁵³)
 洲本市(厚浜,23.IX.1976,-,藤富正昭⁷)
 三原町(八木養宜,1.X.1992,-;25.IX.1993,-,藤富正昭⁷)
 南淡町(阿万上町,23.IX.1958,-;18.X.1984,-,藤平明⁴)

4. *Rhodinia fugax* (Butler) (2994)

ウスタビガ

北海道から九州にかけて分布し、各地の雑木林に

多い。食性は広く、コナラ属、サクラ、ケヤキ、カエデなどにつく。秋から晩秋にかけて年1回の発生である。繭は緑色で長い柄で枝にぶら下がっており、その形状からヤマカマスと呼ばれる。

雌雄でかなり色調や形状が異なる。県下からは里山から低山地にかけて普通に分布するが、東播、南但、淡路北部からの記録を欠く。また山地帯における記録も少ない。もっとも、発生時期が晩秋で、十分な調査が行われていないことによるのかもしれない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎²⁴:谷上,10.XI.1991,1♀,東正雄³⁰)
 宝塚市(南口2丁目,10.X.1978,-,新家勝¹⁶:西谷西部,10.XI.1976,1♂;12.XI.1977,1♂,東正雄³⁰)
 川西市(黒川,9.XI.1996,1♂4♀,高島昭³⁷)
 波賀町(-,4.XI.1972,1♀,相坂耕作:戸倉峠,25.X.1981,1♂,相坂耕作)
 上郡町(上郡,14.XI.1995,1♀,高島昭)
 豊岡市(山本,29.X.1972,-;11.XI.1972,-,山根政之²⁸)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁵³)
 洲本市(鮎屋,1.XI.1968,1♂,坂口操⁴⁶:同,17.XI.1969,-;20.XI.1969,-,坂口操²⁶:厚浜,21.XI.1976,-,藤富正昭⁷)
 三原町(八木養宜,10.XI.1993,-,藤富正昭⁷)

5. *Rhodinia jankowskii* (Oberthür) (2995)

クロウスタビガ 注目種

シベリア南東部から朝鮮半島を経て日本にかけて分布する冷温帯性の種で、国内では北海道から四国中央山地にかけて記録があるが、本州以南では山地は限られ、局地的で採集例は少ない。

年1回秋の発生で、キハダが食樹として知られる。県下の記録はいずれも波賀町で採集された例のみであるが、おそらく西播北部から氷ノ山、鉢伏山などの但馬山地にかけて広く分布していると思われる。近県では大阪府箕面や岡山県北部山地でも記録がある。なお、兵庫県版レッドデータブックでBランクに指定されている。

【採集記録】

波賀町(引原,9.X.1972,1♂,相坂耕作:同,10.X.1988,1♂,高島昭³¹:坂の谷,25.IX.1998,1♂,高島昭³⁹)

6. *Caligula jonasii* Butler (2996)

ヒメヤママユ

モンゴルから中国、シベリア南東部、朝鮮半島、日本に分布し、国内では北海道から九州、対馬、屋久島に分布する。年1回秋の発生で、バラ、スイカズラ、ブナ、ミズキ、カエデの諸科のほか色々な植物につく。県下では、各地の里山から低山地にかけて広く分布するが、東播地域からは記録がない。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-,-.1933,-,堀江聡男⁴⁸:有馬,17.X.1938,1♀,東正雄³⁰:有馬,23.X.1946,1♂,東正雄³⁰:山田,18.X.1946,1♂,東正雄³⁰)
 宝塚市(西谷西部,22.IX.1991,2♂,東正雄³⁰:武田尾,19.X.1991,5♂,東正雄³⁰)
 姫路市(番写山,3.XI.1990,4♂,相坂耕作:太市,-,-.1991,-,丸谷ほか²¹)
 夢前町(-,23.X.1971,2♂,相坂耕作:同,24.X.1971,2♂,相坂耕作)
 安富町(皆河,21.X.1988,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,10.IX.1998,1♀,高島昭)
 三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人⁹)
 豊岡市(山本,24.X.1972,-,山根政之²⁸)
 和田山町(久世田,12.IX.1989,1♂,近藤伸一:同,27.X.1989,1♂,近藤伸一)
 柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 市島町(妙高山,-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 洲本市(鮎屋,6.XI.1969,-,坂口操²⁶)
 三原町(八木養宜,10.XI.1991,-;5.XI.1993,-,藤富正昭⁷)

7. *Actais artemis* (Bremer & Grey) (2998)

オオミスアオ

一般に次種より大きく、夜行性だが昼間木陰に羽を広げて休んでいる姿を見ることも多い。中国東北部からシベリア南東部、千島、北海道、本州、四国、九州、対馬、種子島、屋久島のほか八丈島、青ヶ島で記録されている。幼虫は多食性。年2回の発生である。一般に次種より食性が広いと、分布域も広いという。県下でも平地から山地まで広く分布している。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-,-.1933,-,堀江聡男⁴⁸:摩耶山,-,-,-,-,田中馨⁴⁰:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁴)
 宝塚市(南口2丁目,15.VI.1981,-,新家勝¹⁷:中山寺,30.V.1987,1♀,東正雄³⁰:西谷西部,25.VI.1980,1♀;2.VII.1988,1♀;16.VI.1990,1♂,東正雄³⁰)

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか¹²⁾
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎¹⁰⁾:同,6.VII.
 1996,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,16.V.1988,2♂,高島昭³²⁾:坂の谷5.V.
 1998,1♂,高島昭)
 三室山(-.-.-,遠山ほか²⁵⁾
 相生市(瓜生,26.VIII.1997,1♀,高島昭³⁸⁾
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-;-.-.VIII.1983,-;-
 VI.-,-;-.-.VII.1984,-,川副昭人⁹⁾
 豊岡市(目坂,10.VI.1988,1♂,近藤伸一:正法寺,8.VI.
 1998,1♂,柴田剛)
 出石町(弘原,1.VIII.1975,-,大林誠⁴⁷⁾
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか²⁵⁾
 和田山町(久世田,21.VIII.1989,1ex.,近藤伸一)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁵¹⁾
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸⁴⁹⁾
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸⁴⁹⁾
 洲本市(鮎屋,25.IV.1969,-;20.VI.1969,-,坂口操²⁶⁾

8. *Actias gnoma* (Butler) (2999)

オナガミズアオ

前種とよく似ているが、♂の前翅前縁は直線的、
 翅頂はとがり、外横線は波状に屈曲せず直線的であること、
 後翅の眼状紋が外方に細長く伸びていること、♀では尾状突起がより細長いことなどの点で区別できる。
 分布は前種とほぼ同じ、国内では北海道から九州、対馬、種子島、屋久島のほか沖縄からも記録されている。
 幼虫はハンノキ属の各種につく。県下では柏原町、三田市、波賀町のように一部で内陸部からの記録も散見できるが、主たる分布域は六甲山系や瀬戸内海、太平洋沿岸部で、流紋岩または花崗岩質の土壤が分布するところに多いようである。
 これはヤシバシ類の分布と深い関係があるのかもしれない。

【採集記録】

西宮市(角石町,20.VI.1980,1ex.,芦田久¹⁾
 宝塚市(南口2丁目,25.V.1979,-,新家勝¹⁵⁾:同,26.IV.
 1988,-,新家勝²⁰⁾:宝梅1,25.V.1981,1♂,東正雄³⁰⁾:西谷西部,28.V.1977,1♂;14.VI.1986,1♂;29.V.1987,1♂;27.VI.1987,1♂;2.VII.1988,1♀;17.VI.1989,1♂;13.IV.1991,1♂;8.VI.1991,1♂,東正雄³⁰⁾
 三田市(-,23.IX.1971,1♀,相坂耕作)
 姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか²¹⁾:同,31.V.1995,1♂,高島昭)

波賀町(引原,14.VIII.1979,3♂,相坂耕作)
 上郡町(行頭,26.V.1995,1♂,高島昭³⁵⁾
 柏原町(柏原,23.VII.1955,1♂1♀,山本義丸⁴⁹⁾
 津名町(大町畑,5.VI.1972,1♂,登日邦明⁴²⁾:同,1.VII.
 1972,1♂,登日邦明⁴³⁾
 南淡町(阿万上町,-.VII.1958,-;-IX.1959,-;14.IV.1961,-;3.V.1961,-,藤平明⁴⁾

9. *Agria japonica* Leech (3000)

エゾヨツメ

ヨーロッパから極東にかけての広域分布種で、国内では北海道から九州にかけて分布する。年1回春の発生で、夜行性であるが他のヤマムコ類と比べて早くから活動を始め、日没直後から盛んに飛び回る。多食性である。分布の中心は里山のような低山地であるが、波賀町坂の谷や扇ノ山のような山地でも得られている。本種の垂直分布が広いことの裏付けとして、石川県ではブナを食べることも確認されている(富樫,1984,蛾類通信129,p.59-62)。兵庫県版レッドデータブックのCランクに選定されているが、県下ではむしろ普通種であると思われる。なお、淡路島からは今のところ記録がない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,14.IV.1963,1♂,田中蕃⁴⁰⁾:同,-.-.-,岡村八郎²⁴⁾:妙法寺町,3.V.1965,1♂,-¹²⁾:伊川谷町,5.IV.1998,1♂,高島昭)
 宝塚市(西谷,10.IV.1977,-,東正雄¹⁹⁾:西谷西部,11.IV.1987,1♂;23.IV.1988,1♂;14.IV.1990,3♂;13.IV.1991,1♂,東正雄³⁰⁾
 波賀町(引原,24.IV.1998,1♂,高島昭:坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,18.IV.1995,1♂,高島昭³³⁾
 上郡町(行頭,25.IV.1996,1♂,高島昭³⁴⁾
 三日月町(下本郷,-.IV.-,-,川副昭人⁹⁾
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂1♀,谷田昌也⁴¹⁾
 柏原町(柏原,7.IV.1955,-,山本義丸⁵³⁾
 市島町(-.-.-.-,山本義丸⁴⁹⁾

<参考・引用文献>

- 1) 芦田 久(1981), 西宮市角石町で採集した蛾類数種の記録. きべりはむし9(2), p.22-24.
- 2) 東 正雄(1987), 兵庫県産珍奇な蛾の追加. きべりはむし15(1), p.16-19.
- 3) 堀田 久(1976), 先山の昆虫相(I). Parnassius

- (16), p.11-32.
- 4) 藤平 明(1973), 南淡の蛾. *Parnassius* (11), p.7-10.
- 5) 藤平 明(1979), 南淡の蛾(IV). *Parnassius* (20), p.10-18.
- 6) 藤平 明(1987), 南淡の蛾(自刊).
- 7) 藤富正昭(1994), 私版 淡路の昆虫リスト. *Parnassius* (41), p.1-4.
- 8) 井上 寛ほか(1982), 日本産蛾類大図鑑 Vol.1:p.1-968, Vol.2:p.1-556, pls.1-392. 講談社・東京.
- 9) 川副昭人(1987), 佐用郡三日月町の蛾覚え書. てんとうむし(10), p.1-10.
- 10) 木村三郎(1984), 広峰・増位山系の昆虫. てんとうむし(9), p.53-58.
- 11) 松本健嗣(1981), 神戸市山田町の蛾数種. きべりはむし9(2), p.21-22.
- 12) 松本健嗣(1983), 神戸・明石近海地域の主な蛾(その1). きべりはむし11(1), p.3-6.
- 13) 夏秋 優・佐々木 昇(1982), 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾. *Crude* (23), p.1-37.
- 14) 夏秋 優・佐々木 昇(1984), 能勢地方の蛾(III) 妙見山の蛾(1). *Crude* (25), p.15-22.
- 15) 新家 勝(1981), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その1). きべりはむし9(1), p.24-26.
- 16) 新家 勝(1982), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その3). きべりはむし10(1), p.7-10.
- 17) 新家 勝(1982), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その1). きべりはむし10(2), p.10-16.
- 18) 新家 勝(1983), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その2). きべりはむし11(1), p.6-10.
- 19) 新家 勝(1989), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その9). きべりはむし17(2), p.31-35.
- 20) 新家 勝(1993), 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その10). きべりはむし21(2), p.53-64.
- 21) 日本野鳥の会(1992), 姫路市自然観察の森 林内基礎調査報告書. 4-6昆虫類 p.119-151.
- 22) 西岡公明(1983), 三熊山蛾類採集記録[1]. *Parnassius* (27), p.7-9.
- 23) 岡本 清(1997), 高砂の蛾. てんとうむし(11), p.40-45.
- 24) 岡村八郎(1987), 神戸市摩耶山の蛾類採集目録. てんとうむし(10), p.37-45.
- 25) 奥谷禎一編(1974), 中国山脈東端の昆虫相. 東中国山地自然環境調査報告p.173-191.
- 26) 坂口 操(1971), 洲本市付近の蛾の記録. *Parnassius* (8), p.8-10.
- 27) 杉 繁郎(1980), 兵庫県で採れたウスマダラカレハ. 誘蛾燈82, p.120.
- 28) 高橋 匡(1975), 豊岡高等学校昆虫標本目録(第1-2報). p.48-54.
- 29) 高橋寿郎(1939), 神戸神有沿線大池付近の蛾類. 昆虫界7(60), p.16-18.
- 30) 宝塚市教育委員会(1992), 宝塚の昆虫III 蛾類(I).
- 31) 高島 昭(1995), クロウスタビガの採集記録. きべりはむし23(1), p.31.
- 32) 高島 昭(1995), 波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報. きべりはむし23(2), p.10-23.
- 33) 高島 昭(1996), 相生市三濃山麓の蛾(1). きべりはむし24(1), p.27-29.
- 34) 高島 昭(1996), 兵庫県版レッドデータブックの蛾. きべりはむし24(2), p.35-44.
- 35) 高島 昭(1997), 上郡町で採集した蛾(1). きべりはむし25(1), p.31-38.
- 36) 高島 昭(1997), 姫路市広嶺山の蛾(1). てんとうむし(11), p.65-69.
- 37) 高島 昭(1998), 黒川の蛾. きべりはむし26(1), p.23-38.
- 38) 高島 昭(1998), 相生市三濃山麓の蛾(2). きべりはむし26(2), p.59-63.
- 39) 高島 昭(1999), 兵庫県波賀町で採集した注目すべき蛾. 誘蛾燈155, p.17-24.
- 40) 田中 馨(1967), 神戸市摩耶山に産する大蛾類. 佳香蝶19(71), p.89-104.
- 41) 谷田昌也(1986), 扇ノ山の蛾類分布資料(I). *IRATSUME* (10), p.30-37.
- 42) 登日邦明(1973), 淡路島産蛾類分布資料(I). 蛾類通信73, p.215-224.
- 43) 登日邦明(1973), 淡路島産若干の蛾の記録. *Parnassius* (9), p.9-16.
- 44) 登日邦明(1974), 淡路島産蛾類分布資料(II). 蛾類通信76, p.261-266.
- 45) 登日邦明(1974), 淡路島産蛾類分布資料(III). 蛾類通信78, p.301-306.
- 46) 登日邦明(1988), ウスタビガの記録. *Parnassius* (33), p.6.
- 47) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報). p.9-14.
- 48) 戸澤信義(1935), 六甲山産蛾類目録. 関西昆虫雑誌2(3), p.30-31.
- 49) 山本義丸(1997), 兵庫県氷上郡地方の蛾類(2). きべりはむし25(1), p.11-22.

- 50) 山本義丸(1997), 兵庫県で採集した蛾の記録.
 きべりはむし25(2), p.54-57.
- 51) 山本義丸(1955), 氷ノ山の蛾について(第一報).
 兵庫生物3(1/2), p.3-6.
- 52) 山本義丸(1956), 氷ノ山の蛾について(第二報).
 兵庫生物3(3), p.121-123.
- 53) 山本義丸(1958), 兵庫県氷上郡昆虫目録, p.12-50.
- 54) 山本義丸(1958), 氷ノ山の蛾について(第三報). 兵庫生物3(4), p.237-239.
- 55) 遊磨正秀(1980), 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類について(I). きべりはむし8(3), p.1-8.
- 56) 遊磨正秀(1981), 宍粟郡一宮町福知溪谷の蛾類について. きべりはむし9(1), p.1-3.
- 57) 遊磨正秀(1981), 養父郡大屋町田淵山の蛾類について(I). きべりはむし9(1), p.3-6.
 (TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

第1表 カレハガ上科、ヤママユガ上科各種の兵庫県下における地域別記録状況

	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	特記事項
カレハガ科													
1. ホシカレハ		○	○			○					○	7	
2. カレハガ	○	○		○	○	○			○		○	9	
3. ヒメカレハ					○							1	注目種
4. ウスマダラカレハ							○					1	注目種
5. ヨシカレハ						○	○	○				5	山地性
6. タケカレハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	26	
7. ギンモンカレハ						○	○	○				6	
8. リンゴカレハ	○	○		○	○	○	○		○	○	○	18	
9. マツカレハ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	27	
10. ツガカレハ		○			○				○		○	8	
11. クヌギカレハ	○	○		○	○	○	○		○		○	13	
12. ヤマダカレハ		○			○				○			3	注目種
13. ウズミカレハ								○				3	注目種
14. オビカレハ	○	○	○		○		○		○	○	○	15	
計	7	9	4	4	9	8	8	5	8	3	8		
オビガ科													
1. オビガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	
カイコガ科													
1. クワコ	○	○			○	○			○			11	
2. カイコ									○			1	飼育種
3. スカシサン	○			○			○		○			4	注目種
4. オオクワゴモドキ						○	○	○	○			5	注目種
計	2	1	0	1	1	2	3	1	4	0	0		
イボタガ科													
1. イボタガ	○	○	○		○				○	○	○	18	
ヤママユガ科													
1. シンジュサン	○	○	○		○				○	○	○	19	
2. ヤママユ	○	○	○		○	○	○	○	○		○	30	
3. クスサン	○	○	○	○			○	○	○		○	17	
4. ウスタビガ	○	○			○				○			12	
5. クロウスタビガ						○						2	注目種
6. ヒメヤママユ	○	○	○		○	○	○	○	○		○	17	
7. オオミズアオ	○	○	○		○	○	○	○	○		○	20	
8. オナガミズアオ		○	○		○	○			○	○		11	
9. エゾヨツメ	○	○			○	○		○	○			13	
計	7	6	6	1	8	7	4	6	8	2	7		